

2025 年度事業報告

2025 年度の諸事業は、2025 年 3 月の理事会で承認された事業計画を順次実施した。

■ 4 つの事業について以下にまとめる。

1)【芸術活動助成】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条1の事業)

2025 年度分の芸術活動助成事業は、2025 年 2 月 3 日、6 日に選考委員会を開き、118 件(音楽 77 件、美術 41 件)に対して 1500 万円の助成を決定した。応募は 275 件(音楽 175 件、美術 100 件)あり、前年度から 59 件減少した(前年度比音楽 32 件減、美術 27 件減)。年度中に音楽分野で黒字による返上が1件 10 万円、不祥事による取り消しが1件 20 万円の計 30 万円が生じ、結果 116 件に 1470 万円を助成した。

2)【文化財保護活動助成】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条 2 の事業)

2024 年 9 月 7 日に開いた選考委員会で、2025 年度分の文化財保護活動助成実施対象事業として申請があった 30 件(継続中の複数年事業を含む)の中から、奈良・西大寺の紙本著色大日三尊像・五大尊像 2 幅保存修理事業など 27 件に対して総額 5,256 万円の助成を決定した。うち公的補助金獲得に伴う助成減額 1 件 55 万円があり、5,201 万円を助成した。

3)【朝日賞の贈呈】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条 3 の事業)

2025 年度の朝日賞は、下記の 4 件、4 氏に贈呈された。

- ◇妹島 和世(せじま・かずよ 69 歳)建築家
「透明性豊かな、人々が集う開かれた建築の実現」
- ◇吉田 裕(よしだ・ゆたか 71 歳)歴史学者
『アジア・太平洋戦争』の実態解明と戦争体験の継承」
- ◇永長 直人(ながおさ・なおと 68 歳)物理学者
「量子物質における創発電磁気学の開拓」
- ◇原 昌宏(はら・まさひろ 68 歳)デンソーウェーブ 主席技師
「QRコードの開発」

受賞者の業績と横顔は 2026 年 1 月 1 日の朝日新聞に掲載された。1 月 29 日に帝国ホテルで、贈呈式、祝賀パーティーを開催し、4 氏に正賞のブロンズ像(彫刻家で 1988 年度朝日賞受賞者の佐藤忠良氏の作品「陽」と副賞 500 万円(1件につき)を贈り、朝日新聞紙上や朝日新聞デジタル版で受賞の喜びを伝えた。

4)【大阪国際フェスティバル】(公益財団法人朝日新聞文化財団 定款第 4 条 4 の事業)

毎年、大阪・中之島のフェスティバルホールで開催している「大阪国際フェスティバル」は 2025 年度、予定していた 3 公演を以下の通り実施した。

- ・5 月 10 日「大阪・関西万博開催記念 大阪 4 オケ 2025」
- ・9 月 23 日「神尾真由子×日本センチュリー交響楽団 華麗なる 2 大コンチェルト」
- ・11 月 7 日「クリスティアン・ティレマン指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」大阪公演

チケット販売や協賛金の収入は1億5,762万円(24年度1億7,278万円)、事業支出は1億4,535万円(同1億6,853万円)で、1,227万円の黒字(同424万円)。4期連続で事業黒字となった。

定番となった大阪4オケ、地元・大阪府出身の神尾真由子はともに有料券売率90%超と好調だった。配賦間接費を含む経常費用全体は1億7,390万円で、当期経常増減は1,627万円の赤字。

■ 定型事項について以下にまとめる。

① 経営環境や事業内容の変化の有無

財団運営の基礎、設立母体である朝日新聞社からの寄付金は25年度4,800万円だった。18～19年度は8,000万円以上あったが、新聞社の経営不振に伴いその後の減額が続き、23年度以降は5,000万円前後で推移している。4公益事業の現行予算水準維持には本来不足しているが、一方で、保有するテレビ朝日HD株式の増配がこの数年続いたことや、基本財産を活用した運用益の確保策、経費節減努力が相まって、事業実施の基盤は安定感が出ている。持続可能な執行体制を維持するため、歴史的に各事業の展開に深くかかわり、毎年度寄付金も拠出している朝日新聞社とは、各事業の在り方について随時協議しているが、現時点で事業内容の大きな変化はない。

② 訴訟案件、偶発債務等は特になし。

③ 法令遵守や不正リスク等については特になし。

④ ゴーイングコンサーン(事業継続性)について

*基本財産10億円が超低金利下でほとんど果実を生まない事態が長期化したため、安全性を第一義として元本保証の定期預金のみ限定していた資産運用について、経理規則を改定して資金運用規定を新設し、21年度から金銭信託、公社債、株式、投資信託等による運用を可能にした。これまで4年間で公社債や一般株式に順次分散投資を行っているほか、ETF(MAXIS 全世界株式、NFTOPIX 連動型、NF 高配当株連動型)を継続的に分散購入している。25年度末で基本財産のうち7億円超を運用し、約1,300万円の配当収入を得た(投資有価証券の詳細は財産目録に記載)。

*主に文化財保護活動助成の原資となるテレビ朝日HD株式の配当は経営好調が持続しており2024年度期末が1株あたり40円、2025年度中間が同30円となった。このため当財団の25年度決算におけるテレビ朝日HD株式配当収入は、前期より1株あたり10円増の70円(総額約1億6,000万円)となった。1株あたり年間40円だった19、20年度に比べると、7,000万円近く増加し、経営基盤の安定に大きく寄与している。

⑤ 後発事象の有無については特になし。

⑥ 重要な通例にない取引の有無については特になし。

■ 管理運営関係等について以下にまとめる。

◇ ガバナンス体制

【評議員会】当財団法人の評議員会は定款で、すべての評議員をもって構成し「理事・監事の選任及び解任」「貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの附属明細書の承認」「定款の変更」等を行うと定めている。評議員は5名以上10名以内で、現在8人で構成されている。任期は4年で無報酬である。評議員は、評議員会で過半数の出席かつ出席過半数の賛成による決議で選出する。音楽・芸術、文化財関係の助成事業や優れた学術・芸術に対する顕彰事業、音楽会公演を行っていることなどから、学界、産業界、学芸界(美術館・博物館館長および館長経験者等)の外部から幅広く有識者を選んでいる。定款では、「評議員及びその配偶者又は3親等以内の親族」「評議員と

事実婚関係にある者」「評議員の使用人」「評議員から受ける金銭その他の財産によって生計を維持している者」等の利害関係者が、評議員の総数の3分の1を超えないことと定めており、また、公益法人を除く他の同一団体の関係者(理事、使用人、理事以外の役員や業務執行社員、および同一の国及び関係機関や地方公共団体等の職員)が評議員の総数の3分の1を超えないとも規定。公益認定法第5条(第10～12号、15～16号)に適合している。また、各評議員が一般法人法第65条第1項、公益認定法第6条第1号の欠格要件にも該当しないことを確認している。評議員会は年1回の実出席による定時評議員会を例年6月に開くほか、必要に応じて臨時評議員会を招集している。25年度は定例会1回、臨時会1回を招集した。評議員会の運営については、定款のほか評議員会運営規則で詳細に定めている。

【理事会】当財団法人の役員は、定款で「理事5名以上10名以内」「監事3名以内」を置くことと定めており、現在理事7名、監事は2名である。理事会は、すべての理事をもって構成する。任期は理事が2年、監事は4年で、いずれも無報酬であるが、常勤の業務執行理事兼常務理事のみ規定で定める年俸が支払われる。理事・監事は、評議員会で過半数の出席かつ出席過半数の賛成で選出される。理事7人のうち、財団の設立母体である朝日新聞社現職役員1人と社員OBが1人含まれている。他の5名については、広く公益に資する法人の性格に鑑み、学界、産業界、学芸界(美術館館長経験者等)、法曹界から幅広く有識者を選んでいる。監事には実業界と法曹界から1人ずつを選んでいる。理事にも、評議員と同様に「理事のいずれか1人及びその親族その他特殊な関係にある者」の理事の合計数が、理事総数の3分の1を超えて含まれてはならない、との規定があるが、これに該当する理事はいない。監事についても「理事(親族その他特殊な関係にある者を含む)並びにこの法人の使用人が含まれてはならない」等の制限を設けており、該当しない。これらにより役員を選任にあたっては公益認定法第5条(第10～12号、15～16号)に適合している。また、各理事・監事が一般法人法第65条第1項、公益認定法第6条第1号の欠格要件にも該当しないことを確認している。最低年2回の実出席による理事会のほか、必要に応じて書面理事会を開いており、25年度は計4回の理事会を開催した。理事会の運営については、定款のほか、理事会運営規則で詳細に定めている。

【会計監査】当財団法人は、任意で会計監査人を設置し、妥当な会計処理が行われているか、外部からの点検を受けている。

【定款・規則】定款、評議員会運営規則、理事会運営規則のほか、選考委員会規則、役員及び評議員の報酬と費用に関する規則、賛助会員と会費に関する規則、情報管理と情報公開規則、個人情報保護規則、特定個人情報取扱規則、印章管理規則、経理規則、公益充実資金等の取扱規定、資金運用規定、コンプライアンス規則、財団及び職員の行動規範などを整備して、安定したガバナンスを維持している。

【助成事業の執行態勢】芸術活動助成、文化財保護活動助成に関しては、申請段階に具体的にバランスのとれた資金計画の記入を求め、計画の実現・履行の確実性を判断している。選考にあたっては、芸術助成、文化財保護助成それぞれに、外部の専門家で構成する選考委員会を設置して、客観的な評価を行っている。実施段階での計画の変更については、その都度変更届を提出してもらっている。採択した音楽会、美術展等の催事、文化財保護活動については、可能な限り事務局メンバーが視察に行き、成果を実地評価し、翌年度以降の助成審査に活かしている。事業収入のある公演事業や展覧会事業が黒字になった場合や、何らかの不祥事で助成先として不適当と判断した場合には、助成金の返還を求める。25年度は音楽公演で黒字による返還が1件、不祥事による取り消しが1件あった。不祥事に関しては、当該団体の責任者を招請し、詳細な内容や善後策について報告を受けた。

◇ 諸会議の開催

- ① 第1回理事会(2025年4月30日)※決算関連・書面
- ② 臨時評議員会(2025年5月13日)※評議員人事関連・書面
- ③ 定時評議員会(2025年6月4日)※決算・人事関連
- ④ 第2回理事会(2025年6月4日)※代表理事・業務執行理事の選任、報告関連
- ⑤ 第3回理事会(2025年6月17日)※株主議決権関連・書面
- ⑥ 第4回理事会(2026年3月9日)※事業計画・予算関連
- ⑦ 2025年度文化財保護活動助成選考委員会(26年度実施分、2025年9月6日)
- ⑧ 2025年度・朝日賞選考委員会(2025年12月1日)
- ⑨ 2025年度芸術活動助成選考委員会(26年度実施分、2026年2月3日、2月13日)

◇ 諸会議の結果

- ① 第1回理事会
 - *開催方法:書面表決
 - *理事会の決議があったものとみなされた日:2025年4月30日
 - *決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意
 - *決議事項:「2024年度事業報告」「2024年度収支決算報告」「理事候補選任案、および同案を定時評議員会に諮ること」「評議員候補推薦案、および同案を臨時評議員会に諮ること」「臨時評議員会の招集」について承認した
- ② 臨時評議員会
 - *開催方法:書面表決
 - *評議員会の決議があったものとみなされた日:2025年5月13日
 - *決議方式:定款第25条に基づく書面決議で評議員全員が同意
 - *決議事項:「評議員2名の選任」について承認した
- ③ 定時評議員会
 - *開催方法:朝日新聞東京本社レセプションルームに於ける会議
 - *評議員会の決議があった日:2025年6月4日
 - *決議方式:定款第24条に基づく過半数の評議員出席、出席評議員の過半数が賛成
 - *決議事項:「2024年度事業報告」「2024年度収支決算報告」「理事7名の選任」「議事録署名人の選任」について全員一致で承認した
- ③ 第2回理事会
 - *開催方法:朝日新聞東京本社レセプションルームに於ける会議
 - *理事会の決議があった日:2025年6月4日
 - *決議方式:定款第41条に基づく過半数の理事出席、出席理事の過半数が賛成
 - *決議事項:「代表理事(理事長)の互選」「業務執行理事(常務理事)の互選」について、全員一致で選任を承認した
 - *報告事項:「理事長、常務理事の職務執行状況報告」が了承された
- ④ 第3回理事会
 - *開催方法:書面表決
 - *理事会の決議があったものとみなされた日:2025年6月17日
 - *決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意
 - *決議事項:「第1号議案:(株)朝日新聞社第172回(2025年)定時株主総会議案に対する議決権行使について、全議案に対して「賛成」の議決権を行使すること」「第2号議案:

(株)テレビ朝日ホールディングス第 85 回(2025 年)定時株主総会議案に対する議決権行使について、第 1 号議案から第 3 号議案までは『賛成』、第 4 号議案から第 8 号議案までは『反対』の議決権を行使すること。議案書を発し、2025 年 6 月 17 日までに第 1 号議案において特別な利害関係を有する理事長 中村史郎を除く理事全員から、第 2 号議案においては理事全員から同意の意思表示がなされ、監事 2 人も異議を述べなかったため、定款第 42 条に基づき、当該議案を理事会が決議したとみなした

⑤ 第 4 回理事会

*開催方法:朝日新聞東京本社ダイニングルームに於ける会議

*理事会の決議があった日:2026 年 3 月 9 日

*決議方式:定款第 41 条に基づく過半数の理事出席、出席理事の過半数が賛成

*決議事項:「2026 年度事業計画」「2026 年度収支予算」「公益充実資金等の取扱規定」「公益充実資金積立計画」「定期提出書類『事業の内容』」、「2026 年度定時評議員会招集」について、全会一致で承認した。「理事長・常務理事の職務執行状況報告」「資金運用計画」「2026 年度第 1 回理事会の決議の省略(書面決議)」「第 2 回理事会の招集」についての報告を了承した

⑥ 2025 年度文化財保護活動助成選考委員会(26 年度実施分)

*日時:2025 年 9 月 6 日

*場所:東京都千代田区丸の内の朝日新聞文化財団会議室

*出席者:選考委員 7 名中 7 人(有賀祥隆、高妻洋成、武田佐知子、中村俊介、根立研介、広瀬和雄、本田光子)

*選考結果:2026 年度実施の対象事業として、申請のあった 47 件のなかから、令和 2 年豪雨で被災した「熊本県人吉市の重要文化財老神神社の保存修理」など継続複数年事業を含め 34 件に計 5,146 万円の助成を決定した

⑦ 2025 年度朝日賞選考委員会

*日時:2025 年 12 月 1 日

*場所:東京都中央区築地の朝日新聞東京本社レセプションルーム

*出席者:選考委員 9 名(青柳正規、伊東豊雄、稲葉カヨ、上野千鶴子、梶田隆章、榊裕之、俵万智、坂尻顕吾、中村史郎)

⑧ 2025 年度芸術活動助成(26 年度実施分)選考委員会

A) 音楽分野

*日時:2026 年 2 月 3 日

*場所:東京都千代田区丸の内の朝日新聞文化財団会議室

*出席者:沼尻竜典、白石美雪、吉田純子(以下、書面出席)、建畠哲、水沢勉、大西若人、以上 6 名(選考委員総数 6 名)

*選考結果:申請があった 158 件の中から、26 年度文楽地方公演、東京室内歌劇場・歌劇「黄金の国」など 71 件に総額 950 万円の助成を決めた

B) 美術分野

*日時:2026年2月12日

*場所:東京都千代田区丸の内の朝日新聞文化財団会議室

*出席者:建畠哲、水沢勉、大西若人(以下、書面出席)、
沼尻竜典、白石美雪、吉田純子、以上6名(選考委員総数6名)

*選考結果:申請があった109件の中から、「細江英公と土門拳、写真的肉体のゆくえ」、
「建築すなわち庭 ワン・シュウ+ルー・ウェンユー展」など49件に総額611
万円の助成を決めた

以上